

かがやき

<http://www.hosp.tohoku-mpu.ac.jp/>

病院広報誌

Vol.34

2018 秋号



産婦人科

「産科」診療再開の準備が始まります

総合医療支援センター

乳腺・内分泌外科からのお知らせ
「いのちへの優しさと思いやり」

臨床工学部

臨床工学技士ってご存知ですか？

ご自由にお持ちください
TAKE FREE

「産科」診療再開の準備が始まります

東北医科薬科大学病院産婦人科では開設以来、婦人科診療は悪性腫瘍の治療を中心として行ってきましたが、産科診療は旧東北厚生年金病院時代の平成17(2005)年6月以来、分娩の取り扱いを中止しておりました。しかし、この度平成31(2019)年秋の分娩取り扱い再開に向け準備が始まりました。



診療開始準備状況につきましては随時お知らせしてまいりますので、もうしばらくお待ちください。ご迷惑をおかけしますが、ご理解のうえご協力くださりますようお願い申し上げます。

産婦人科
酒井 啓治



新たな分娩施設は現病院棟2階の職員および一般のご来院された方々の食堂の跡にLDR (Labor, Delivery and Recovery) 2室建設される予定です。このため、食堂は平成30(2018)年8月末に閉店いたしました。ご来院の皆様ならびに職員の皆様には多大なご迷惑をおかけすることとなり、心よりお詫び申し上げます。

平成31(2019)年の9~10月頃には分娩を再開できるよう現在、産婦人科医局員・スタッフ一丸となって鋭意準備を進めておりますが、まだまだ診療体制の整備中でソフト面においてもハード面においても充実させなければならない点が多々あります。このため、スタート時には安全第一を考え分娩(数ならびに合併症など)に制限を設けさせていただく予定です。人員や施設の充実とともに制限を解除していく所存ですので何卒、ご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



L D R とは？

1. 陣 痛 (Labor)
2. 分 娩 (Delivery)
3. 回 復 (Recovery)

陣痛から分娩、回復まで移動せずに、同じ部屋の同じベッドで過ごせる特別個室になります。



乳腺・内分泌外科からのお知らせ

乳腺についてお悩みのある方、または検診結果が要精密検査でどこを受診したらいいかわからない方、ぜひ当院の乳腺・内分泌外科にご相談ください。
受診方法は次のとおりです。

■診察日／月曜日から金曜日（祝日、年末年始を除く）

■受付時間／8:30～11:30

（予約不要、受付時間内にお越しください。）

- 受診の際は、紹介状もしくは要精密検査結果をご持参ください。
紹介状をお持ちでない患者さんでも受診は可能ですが、その場合は初診に係る費用として5,000円（税別）を自費でご負担いただきます。
- 即日検査により約7～10日間で確定診断し治療を開始いたします。
- マンモグラフィ検査は女性放射線技師が対応いたします。



10月は「臓器移植普及推進月間」です

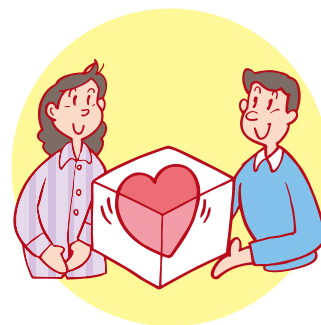
「いのちへの優しさと思いやり」

臓器移植は、臓器の機能が低下し、移植によってのみ、その回復が見込まれる人に対して行う医療で、臓器提供者はもとより、広く社会の理解と支援があって成り立つ医療です。

このような移植医療の適正な実施に資することを目的として、「臓器の移植に関する法律」が平成9（1997）年10月に施行され、一定の実績を積み重ねてきていますが、平成22（2010）年の改正法施行後においても臓

器提供事例は、顕著な増加を示していません。

今後、臓器移植の一層の定着・推進を図るためには、より多くの方々に移植医療に対する理解を深め、臓器提供に関する意思表示をしていただくことが極めて重要であることから、「臓器移植普及推進月間」を設け、臓器移植に対する理解と協力のための普及啓発を行っています。



総合医療支援センター
事務員

臨床工学技士ってご存知ですか？



Faculty of
Clinical
Engineering

院内では様々な医療機器が使用されているのを見たことがある方も多くいるかと思います。その際に安全にトラブルなく使用できるよう、私たち臨床工学技士が一台一台機器点検を実施しています。

臨床工学技士とは、「臨床工学技士法」に基づく医学と工学の両面を兼ね備えた国家資格で、医師の指示の下に生命維持管理装置の操作、保守管理を行う事を業とする「医療機器の専門家」です。

具体的な仕事内容としては、透析室や集中治療室での血液浄化療法、ペースメーカー外来や植込み手術を含むペー

スメータ操作、人工呼吸器を含む呼吸療法機器のサポートや導入等、心臓外科手術での人工心肺操作、手術室で使用する機器のサポート等（内視鏡装置やダヴィンチ等）、心臓・肺・消化器・末梢血管などのカテーテル検査・治療のサポートを行っております。

当院では現在13名の臨床工学技士が在籍しており、院内の様々な場所でチーム医療の一員として日々活躍しています。



臨床工学部
柴田 珠里



INFORMATION

当院での企画や行事、最新情報をお伝えいたします！



2階の食堂が閉店となりました

平成30年8月31日(金)15:00をもちまして、2階の食堂は閉店となりました。長い間多くのお客様にご愛顧いただきまして、誠にありがとうございました。食堂のあった場所は「分娩室」に改修すべく工事を進めております。

ご利用ありがとうございました！



市民公開講座「アレルギーはこわくない」を開催します！

一般市民の皆様に対するアレルギー疾患の啓発活動の一環として、下記のとおり市民公開講座の開催を企画いたしました。

- 講座名称：「アレルギーはこわくない」
- 開催日時：平成30年10月28日(日)13:30～15:00
- 開催場所：東北医科薬科大学 医学部教育研究棟
3階プラタナスホール
※病院内ではなく、病院敷地内にある建物になります。
- 会場住所：仙台市宮城野区福室1-15-1
- 対象者：一般市民(250名)
【お問い合わせ先】鳥居薬品(株)仙台支店 TEL:022-217-1176
- 参加料：無料

ケータイ・スマホの方は
こちらからもアクセス！



プログラム

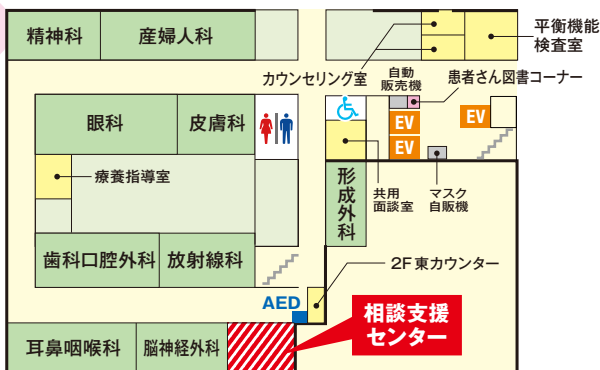
- 挨拶 近藤 丘 (当院 病院長)
総合司会 佐藤賢一 (当院 消化器内科科長)
- 1)「喘息とのつきあい方」
大野 勲 (当院 医学教育推進センター長)
 - 2)「アトピー性皮膚炎とのつきあい方」
川上民裕 (当院 皮膚科科長)
 - 3)「花粉症とのつきあい方」
太田伸男 (当院 耳鼻咽喉科科長)
 - 4)「アレルギー性結膜炎について」
高橋秀肇 (当院 眼科科長)
 - 5)「食物アレルギーって？」
北沢 博 (当院 小児科医師)



相談支援センター

当院では、医療費などの経済的なことや治療上のことなど、病気に関わるご不安やお悩みを少しでも和らげられるよう、相談窓口を設置しております。どこに相談したらいいのか分からないとお困りの際には、お気軽に下記までご相談ください。

2階



- ◆日時：月～金曜日(祝日、年末年始を除く)
9:00～16:30
- ◆TEL:022-259-1221(代表)

ケータイ・スマホの方はこちらからもアクセス！



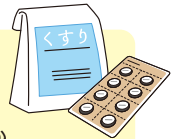
健康講話のお知らせ

地域の皆様が明るく楽しく健康な生活がおくれますよう、「健康講話」を開催いたします。どなた様もお気軽にご参加ください。

- 開催日時：下記の日程の水曜日 13:30～14:30
- 開催場所：東北医科薬科大学病院 (多目的棟2F大会議室)
- 参加料：無料

【予定演題】

- 10月10日 ①認知症の治療薬について
②高次脳機能障害を知っていますか
高次脳機能障害支援拠点病院としての当院の取り組み
- 11月14日 ①未定(講師：診療放射線技師)
②インフルエンザ
- 11月28日 ①子どものアトピー性皮膚炎と食物アレルギー
※午前開催(11:00～12:00)になります。
- 12月12日 ①本当は怖い！睡眠時無呼吸症候群
②転倒に御用心



特別
講話

- 開催場所：高砂市民センター
- 参加料：無料
- 11月16日(金)13:30～14:30
- 【予定演題】膝のお話(仮)

ケータイ・スマホの方は
こちらからもアクセス！

